



年頭にあたって



高山村長
後藤 幸三

新年明けましておめでとうございます。謹んで新年のご挨拶を申し上げます。村民皆様には平成31年の新春を健やかに迎えのことと心から御慶び申し上げます。

昨年は、特に公私に渡り一方ならぬお世話様になり、心から感謝申し上げますと共に本年も引き続き宜しくご指導ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。

昨年を振り返りますと明るいニュースでは癌治療の本庶佑さんのノーベル賞（医学・生理学賞）の受賞、日本人選手の平昌冬季オリンピックでの活躍、また卓球やバドミントン、水泳、テニスなどの国際大会での活躍がありました。

一方、梅雨時期に雨が少なく、初夏からうだるような真夏の猛暑が続く、大阪北部地震や西日本の豪雨災害、ため池の決壊、台風被害、北海道の地震災害等自然災害に明け暮れた年の様に思いました。昨今このような大災害が発生しています。比較的災害の少ない高山村でも近年の気象変動による自然災害

の発生が懸念されます。この状況を受けて急遽、総務課に防災係を設置して、新たな防災マニュアルの策定に取り組むこととしました。村民皆様のご協力を仰ぎながら地域ごとにハザードマップを作成して、村民の安心安全な生活を守るための村づくりに邁進いたします。

中心地づくりにおいて、道の駅中山盆地周辺整備が進行中ですが、昨年4月に公園・緑地広場が村いぶき太鼓や大洗高校のブルーホークスの協力を得て賑やかにオープンしました。お蔭様でこの効果もあり、道の駅での売り上げも順調な伸びを示してきております。これからも周辺整備、各種イベント等を通して更なるふれあい交流人口の増加をはかります。

人口減少はこの自治体でも問題ですが、高山村は地の利を生かし、周りの自治体へのアクセスを有効活用し、人口減少鈍化に向けての取り組みの一端として、予てより県道36号線の改良を県へ働きかけてまいりましたが、昨年ボーリング調査が終わり測量の段階に入り、事業化に向けて大きく近づいてまいりました。予定としては2027年度の完成というのですが、一刻も早い、共用を期待しているところです。

教育においては、英語を話すのが当たり前の社会になりつつある中、高山村の幼、小、中の英語教育を更に充実していきたいと考えています。

以上縷々申し上げましたが、「笑顔で輝く高山村」が更に輝けるように村民皆様と共に頑張っていきたいと思います。

結びに本年が皆様にとって素晴らしい年になりますようご祈念申し上げます年頭の挨拶といたします。



年頭にあたって



高山村 議長
有馬 嘉太郎

明けましておめでとうございます。
村民皆様には、平成31年の新春を健やかにお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

平成31年の年頭にあたり議会を代表して謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

旧年中は議会活動に対しましてご理解ご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

さて、昨年を振り返れば、流行語にもなった「災害級の暑さ」と言われた猛暑や、一昨年に引き続き7月には西日本豪雨災害が発生し、甚大な被害が出ました。近年の雨の降りようは尋常ではなく、記録的短時間大雨情報の発表が常態化しつつあるように見えますし、梅雨前線と太平洋高気圧の位置次第で本村でも同様の豪雨災害を想定しておかなければなりません。そして大型台風の相次ぐ上陸や、震度7を記録した北海道胆振地方の地震など自然災害の恐ろしさを実感した年となりました。

明るい話題として、中心地づくり基本計画に基づいて

進めてきた公園、緑地広場の整備が3年を掛けて、活性化の拠点としての「高山ふれあいパーク」が4月にオープンしました。その効果で道の駅「中山盆地」の利用者売り上げも伸びており、今後大いに期待されます。そして11月末から5万球のイルミネーションが訪れる人の目を楽しませており、冬の集客にも寄与するものと思います。

今、全国の自治体共通の課題は、人口減少問題であります。全国市町村の半数が「消滅」の可能性があるという増田元総務相らのリポートが波紋を広げたのは4年前でした。安倍内閣は地方創生を掲げ地方の活性化策を進め、本村でも総合戦略を策定し、人口減少に歯止めをかける施策は当然進めなければならぬと思いますが、一方で、人口減少を前提とした現実に即した将来展望も描く事も必要と考えます。

私たち議員は、平成27年4月に就任して以来早いもので、4月には任期満了を迎えます。

今、小規模自治体の多くで議員のなり手不足が深刻な問題になっております。議員定数に足らず、再選挙になった直近の事例もありました。昨年11月の全国町村議長大会においても、議員のなり手確保に関す要望の決議をしたところでもあります。村政に関心をもっていただき4月には多くの人が手を挙げて頂くことを願って止みません。

任期わずかとなりましたが住民福祉の向上のため議員一同取り組む所存ですので、変わらぬご指導ご協力をお願い申し上げます。

結びに村民皆様にとって今年一年がより良い年となりますようご健勝ご多幸をお祈り申し上げます年頭のご挨拶いたします。



年頭にあたって



高山村教育委員会教育長
山口 廣

新年あけましておめでとうござい
ます。

村民皆様には、ご家族お揃いで平成31年の新春を健やかなうちに迎えられたことと心よりお慶び申し上げます。

旧年中はひとかたならぬご指導とご鞭撻を賜り、誠にありがとうございました。おかげさまで学校教育、社会教育、芸術文化・スポーツの振興等、本村の教育行政を順調に進めることができました。本年も変わらぬご支援とご協力をどうぞよろしく願っています。

昨年を振り返ってみますと10月に開催した村民運動会の実施について、検討会議で、土曜日開催や分館対

抗も総合成績を廃止し、種目別表彰にしたりするなど見直しを行い、誰もが参加しやすい大会としました。また、ゲートボールとグラウンドゴルフは村民運動会の種目から独立して、教育長杯ゲートボール大会・グラウンドゴルフ大会とし、村民の多くの競技者が参加できるように変更しました。

今後分館対抗の各種大会において分館合同チームや個人参加を認めるなど、多くの村民の皆様が参加できるように検討していきます。

高山村は以前から英語教育に力を入れており、現在、中学校の2人の英語教員が小学校で英語の授業をしています。また、地域のボランティアの協力を得て、小学校低・中学年、中学1・2年生を対象に放課後等を使い、いぶき会館で英語の学習をしています。さらに、現在小学5年生から中学3年生までを対象に英語検定料(及び漢字検定料)の全額補助を実施し、小学生・中学生とも両検定にチャレンジし素晴らしい結果を残しています。今後も学校教育だけでなく社会教育でも英語教育の充実を図っていきます。

次に文化財に関してですが、昨年10月に尻高人形が神奈川県藤沢市で公演を行い、藤沢市民の皆様にご覧いただくことができました。また、

群馬県生涯学習センターでの公演では、尻高人形のすばらしさを県民の皆様にご紹介することができました。

昨年3月に「たかやまの文化財」を改訂したことを機に、11月の文化祭で普段は公開していない雙松寺の一切経と名久多教会を、関係者のご厚意により一般公開し、高山村の文化財について村民の皆様に興味をもってもらえることができました。

生涯スポーツの面から見ますと、施設・設備の充実はもちろんのこと、全年齢層でスポーツを楽しむことができるよう大会等の見直しや支援を行っていくつもりです。

本年も皆様のニーズと期待に応えられるよう各種団体などを支援しながら、学校教育、社会教育、芸術文化、スポーツの振興等、生涯学習の推進に努めていく所存ですので、ご理解とご協力をお願いいたします。

結びに本年が村民皆様にとって幸せに満ち充実した年となりますようご祈念申し上げ、年頭の挨拶いたします。

